

受診についての注意事項

1. 感染症対策について

- 以下の症状がある方は健診を受けられない場合がございます。事前にご相談ください。
 - 37.5度以上の発熱
 - 下痢や嘔吐
 - 激しい咳
 - その他感染症が疑われる症状がある体調不良の場合、正しい結果が得られない場合がございます。

2. 検査の制限について

下記の条件により、ご希望の検査を受けられない場合がございます。
その他、当日の健診結果(体重、血圧、脈拍など)や問診内容・確認事項によりご希望の検査を中止する場合がございます。(以下一例となります。なお、赤字に該当する項目がある方は検査をお受けできません。)

■胃内視鏡検査(胃カメラ検査)

- 血栓予防のための薬(血液をサラサラにするお薬)を飲んでいる方
- 局所麻酔薬(キシロカインなど)アレルギーの方
- 妊娠中の方または可能性のある方
- 脳動脈瘤、大動脈瘤(胸部・腹部)、大動脈解離と診断されたことのある方

■胃部X線検査(胃バリウム検査)

- バリウム製剤に過敏症(アレルギー)のある方
 - 体位変換が困難な方(体に麻痺や外傷などがある場合)
 - 嚥下障害(飲み込みが上手くできない)の方
 - 80歳以上の方
 - 過去1年以内に心筋梗塞や脳梗塞にかかった方
 - 腸閉塞、腸捻転、大腸憩室炎、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)と診断されたことのある方
 - 人工透析で水分制限を受けている方
 - 妊娠中の方または可能性のある方
 - 腹部大動脈瘤、大動脈解離と診断されたことのある方
- ※その他詳しくは胃部X線検査問診票をご参照ください。

■子宮がん検査

- 妊娠中の方、子宮全摘手術を受けられた方は、定期受診先の病院でお受けください。
- 生理中の方は、正しい結果が得られない場合がございます。(実施は可能ですが推奨はいたしません)

■乳房超音波検査(乳腺エコー検査)

- 乳房を全摘された方(全摘側の乳房超音波検査はできません)
- 妊娠中の方
- 授乳中の方、断乳後間もない方、豊胸手術(ヒアルロン酸注入含む)を受けられた方は、正しい結果が得られません。ご心配な方は乳腺外科へご相談ください。

■乳房X線検査(マンモグラフィ)

- 妊娠中の方または可能性のある方
 - 授乳中の方
 - ペースメーカーなどの医療機器を装着されている方
 - 豊胸手術(ヒアルロン酸注入含む)を受けられた方
 - 乳房再建術後間もない方
 - 胸部付近の手術後間もない方
 - 断乳後間もない方は正しい結果が得られません。
- ご心配な方は乳腺外科へご相談ください。

■肺機能検査(スパイロメトリー)

- 妊娠中の方

3. 尿・便検査について

- 健診当日の朝に採取した尿をお持ちください。
- 便潜血検査のある方は、必ず**健診日を含む5日以内に採取した便**をお持ちください。
ただし2回法検査の方で期間内に2回採取できなかった方は1回でも検査できる場合がございます。

4. 眼底・眼圧検査について

- コンタクトレンズをご使用の方は、外して検査を行いますので容器をお持ちください。
また、使い捨てコンタクトレンズの方は代わりのコンタクトレンズかメガネをお持ちください。

裏面もよくお読みください

5. 食事について(血液検査・胃部X線検査・胃内視鏡検査・腹部超音波検査を受ける方)

- 検査開始の10時間前までに済ませてください。
- 検査前日は繊維質のものなどは控え、消化の良いものを摂るようにしてください。
- 水分は水・白湯に限り、受付の3時間前までに200ml程度は飲んでいただいても構いません。
- ご自身の検査項目をご確認いただき、該当の検査を受診される場合のみ上記注意事項を厳守ください。飲食された方は一部の検査(胃部X線検査・胃内視鏡検査・腹部超音波検査)ができない場合がございます。

6. アルコール・タバコ

- 検査前日の飲酒はお控えください。
- 検査当日は、検査が終了するまで喫煙はお控えください。

7. お薬

- 普段飲んでいるお薬がある方は事前に主治医に相談の上、指示を受けてください。
- 一般的に、血圧や心臓の薬は起床後早めに水または白湯で内服してください。
- 糖尿病の薬(インスリン含む)は当日食事を摂らない場合はどうするか、主治医の指示に従ってください。

8. 女性の方へ

- ご不明点がございましたら事前にご相談ください。
- 妊娠中の方は必ず受付にお申し出ください。受診された場合、受けられない検査項目が発生したり妊娠の影響で正しい検査結果が得られない場合がございます。

	胸部X線	胃部X線	胃部内視鏡	尿検査	便検査	腹部超音波	乳房超音波	マンモグラフィ	子宮がん検査
①生理中	○	○	○	○※1	△※2	○	○	○	△
②妊娠中	×	×	×	○	○	×	×	×	×
③妊娠の可能性	×	×	×	○	○	○	○	×	○
④授乳中	○	△※4	○	○	○	○	△※3	×	○
⑤断乳後間もない方	○	○	○	○	○	○	△※3	△※3	○

※1 生理中でも尿検査はできます。検査の判定は生理中を考慮した判定となります。

※2 陽性(+)の結果が出る場合がございますのでお勧めしませんが、健保組合様の健診コースによって必須項目の場合もございます。

※3 授乳中・断乳後間もない方は正しい結果が得られません。ご心配な方は乳腺外科へご相談ください。

※4 検査は可能ですが、検査後に飲む下剤が授乳に影響があり、お子様が下痢をする可能性があるため、下剤服用後の授乳は1日以上空けていただくか、薬局にご相談して対応している市販薬を購入、使用されることをお勧めします。

9. 会社や事業所で健診を受けられる方へ(健診会場が当センター以外の方)

上記事項に加え、下記についてもご注意ください。

■胸部X線・胃部X線検査を受けられる方

- ボタンやファスナー・ホックなどの付いた衣類・装飾品(スパンコール)の入ったTシャツなどの着用は、X線写真に写り込んでしまい、正確な判定ができなくなりますので避けてください。
- 上半身はスポーツブラなど、ホックや金具のないものを着用いただければ着替えがなく撮影ができる場合がございます。
- ブラジャー・貴金属・湿布・カイロ・磁気テープは外してください。

■心電図検査を受けられる方

- 両手首・両足首・胸部に電極を付けますので、ワンピース・サロペット・ストッキング・タイツ・ガードル・ボディスーツ・ロングブーツなどの着用は避けてください。

■診察を受けられる方

- 頸部リンパ節、甲状腺の触診で首まわりを触れたり、心音、呼吸音の確認で心臓、肺に聴診器を当てます。ワンピース、サロペットなどの一体型の服、まくり上げにくいタイトな服、タートルネックの服、ボディスーツなどの着用は避けてください。